



平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月31日

上場会社名 株式会社メディカルネット 上場取引所 東  
 コード番号 3645 URL https://www.medical-net.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役会長CEO (氏名)平川 大  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部シニアマネージャー (氏名)三宅 大祐 (TEL) (03) 5790-5261  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日~平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	1,090	△1.8	170	14.6	172	15.4	116	37.3
28年5月期第3四半期	1,111	23.5	148	83.9	149	83.9	84	117.1

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 114百万円(27.5%) 28年5月期第3四半期 89百万円(115.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	21.57	21.56
28年5月期第3四半期	15.71	15.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	1,752	1,548	87.2
28年5月期	1,668	1,450	85.6

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 1,528百万円 28年5月期 1,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年5月期	—	0.00	—		
29年5月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日~平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,564	5.5	110	△37.5	110	△37.7	70	△62.4		13.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、 除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年5月期3Q	5,386,500株	28年5月期	5,386,500株
29年5月期3Q	34株	28年5月期	34株
29年5月期3Q	5,386,466株	28年5月期3Q	5,386,466株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策の効果もあって雇用や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、英国のEU離脱問題や米国の新大統領による政策などの影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

広告業界におきましては、平成28年の広告市場の総広告費及び当社グループが関連するインターネット広告市場における広告費は、共に増加傾向にありました。広告市場の総広告費は、6兆2,880億円（前年比1.9%増）、インターネット広告市場における広告費は、1兆3,100億円（前年比13.0%増）となりました（株式会社電通「2016年日本の広告費」）。

また、当社グループが属しておりますインターネット附随サービス業におきましても、当第3四半期連結会計期間の売上高が前年を上回る水準で推移しております（経済産業省「特定サービス産業動態統計月報（平成29年1月分）」）。

一方、当社グループの事業領域である歯科市場においては、歯科診療医療費が2兆8,329億円（前年比1.4%増 厚生労働省「平成27年度 医療費の動向」）、歯科診療所は68,935施設（厚生労働省「医療施設動態調査（平成28年12月末概数）」）となり、インプラントやホワイトニング等の自費診療の普及や口腔衛生意識の高まりもあったものの、歯科診療医療費の伸び悩みや歯科医院の過当競争の進展により厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、基幹事業であるポータルサイト運営事業の効率化を推し進めると共に顧客満足度の向上を図るためスマートフォン広告の拡充、新たなサービス構築のためのリソースの確保に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,090,797千円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は170,388千円（前年同四半期比14.6%増）、経常利益は172,089千円（前年同四半期比15.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は116,182千円（前年同四半期比37.3%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、前第4四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社ガイドデントの保有株式の90%を第三者に譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「保証事業」を廃止しております。当第3四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

#### ① ポータルサイト運営事業

当社グループの基幹事業であるポータルサイト運営事業においては、インターネット広告市場における広告費は1兆3,100億円（前年比13.0%増）と拡大基調にあるものの（株式会社電通「2016年日本の広告費」）、歯科分野では、歯科診療医療費の伸び悩みや歯科医院の過当競争の進展により厳しい状況が続きました。

また、美容・エステ分野では、参入企業の多くは既存店舗のリニューアル、スクラップアンドビルドによる売上改善、差別化のための付加価値サービスの提供等、企業努力を講じてはいるものの、平成28年のエステティックサロン総市場規模は3,572億円（前年比0.3%増）と微増推移となりました（株式会社矢野経済研究所「エステティックサロンマーケティング総鑑 2017年版」）。

こうしたなか、女性たちの「キレイになりたい!」をサポートする美容サイト「美LAB.」等の新たなポータルサイトの収益化を目指しました。また、当社グループが運営する各ポータルサイトの認知度の向上を図ると共に引き続きスマートフォン広告の拡充を進め、新たなサービスの提供を実現するための体制を整備してまいりました。その結果、主力サイトの「インプラントネット」や「矯正歯科ネット」の売上高は前年比で増加いたしました。その他のポータルサイトへの広告出稿につきましては厳しい状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は566,308千円（前年同四半期比16.3%増）、セグメント利益は363,120千円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

② SEM事業

SEM事業においては、運用型広告市場規模は、運用型広告費に含まれる検索連動広告費がスマートフォンやタブレットなどの普及拡大の恩恵を大きく受けたことにより、7,383億円（前年比18.6%増）となりました（株式会社電通「2016年日本の広告費」）。

こうしたなか、弊社におきましてはスマートフォンやタブレットなどの普及拡大の影響を受け、リスティング広告運用代行サービスのクライアント数が増加し、それに伴い売上高も増加いたしました。また、SEOサービスにおいては、複数キーワードへの対策結果を短期的に求めることが難しい仕組みへと変化したことにより、比較的效果の現れやすい検索連動広告をそれに代わる手法として求めるクライアントが増えておりますが、Googleなどの検索エンジンで利用されているアルゴリズム（検索キーワードに対して最適なページを判定するための処理手順）への対応の効果が始め、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は277,321千円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は21,934千円（前年同四半期比23.9%減）となりました。

③ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、連結子会社のプランネットワークス株式会社において、歯科医療従事者と歯科関連企業等をつなぐポータルサイトの運営を中心にリサーチ、コンベンションの運営受託、広告ソリューションの提供及びMR（製薬会社の医薬情報担当者）向けの高級弁当販売のプラットフォームを弁当製造販売業者へ提供する等、様々なサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き組織体制の強化や歯科関連企業への積極的なプロモーション活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は100,951千円（前年同四半期比15.9%減）、セグメント損失は6,448千円（前年同四半期は、セグメント利益10,211千円）となりました。

④ メディアプラットフォーム事業

メディアプラットフォーム事業においては、平成27年1月15日にリリースした“妊娠時～6歳児までのお子さんをお持ちのママ”をターゲットとしたママ向け子育て情報サイト「まんまみーあ」を運営しております。「まんまみーあ」は平成29年2月28日現在、訪問者数は1,879万5千人と、ターゲット層の獲得媒体として成長しております。

しかしながら、当ターゲット層に対するアプリ等のサービス開発に伴う投資等が先行しており、新サービスの投入による本格的な収益化は来期以降の予定であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,055千円（前年同四半期比146.7%増）、セグメント損失は25,648千円（前年同四半期はセグメント損失29,607千円）となりました。

⑤ 販売代理事業

販売代理事業においては、当社独自のサービスと関連性のある他社Web商材・リアル商材の営業活動を積極的に行いましたが、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は60,770千円（前年同四半期比47.1%減）、セグメント損失は3,064千円（前年同四半期はセグメント利益6,018千円）となりました。

⑥ 事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業

事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業においては、スマートフォンやタブレットなどの普及の影響を受け、ワンストップソリューションサービスの一環である事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業の販売は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は77,110千円（前年同四半期比9.6%増）、セグメント利益は9,050千円（前年同四半期は、セグメント損失185千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,752,090千円となり、前連結会計年度末に比べ83,690千円（前連結会計年度末比5.0%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度に比べ83,690千円増（前連結会計年度末比5.0%増）の1,752,090千円となりました。これは主に、現金及び預金は94,055千円減少したものの、売掛金が78,092千円、長期貸付金が68,415千円増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度に比べ14,460千円減（前連結会計年度末比6.6%減）の203,316千円となりました。これは主に、未払費用が16,382千円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度に比べ98,150千円増（前連結会計年度末比6.8%増）の1,548,773千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益116,182千円を計上したこと等により、利益剰余金が100,023千円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年7月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,259,935	1,165,880
売掛金	180,251	258,344
その他	97,652	140,164
貸倒引当金	△7,638	△9,121
流動資産合計	1,530,202	1,555,267
固定資産		
有形固定資産	14,617	12,012
無形固定資産		
のれん	56,816	54,221
その他	12,440	8,224
無形固定資産合計	69,257	62,445
投資その他の資産		
その他	76,213	143,719
貸倒引当金	△21,890	△21,355
投資その他の資産合計	54,322	122,364
固定資産合計	138,197	196,822
資産合計	1,668,399	1,752,090
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,907	21,550
未払法人税等	36,213	35,301
賞与引当金	-	11,868
ポイント引当金	-	140
その他	165,655	134,456
流動負債合計	217,776	203,316
負債合計	217,776	203,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	261,034	261,034
利益剰余金	880,147	980,170
自己株式	△34	△34
株主資本合計	1,427,182	1,527,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,388	1,358
その他の包括利益累計額合計	1,388	1,358
非支配株主持分	22,051	20,209
純資産合計	1,450,623	1,548,773
負債純資産合計	1,668,399	1,752,090

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	1,111,268	1,090,797
売上原価	600,105	531,174
売上総利益	511,162	559,622
販売費及び一般管理費	362,467	389,233
営業利益	148,695	170,388
営業外収益		
受取利息	270	401
未払配当金除斥益	243	177
業務受託料	-	725
その他	32	396
営業外収益合計	546	1,700
営業外費用		
固定資産除却損	45	-
その他	41	-
営業外費用合計	87	-
経常利益	149,155	172,089
税金等調整前四半期純利益	149,155	172,089
法人税、住民税及び事業税	63,498	60,997
法人税等調整額	△4,658	△3,247
法人税等合計	58,840	57,749
四半期純利益	90,314	114,340
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,684	△1,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,630	116,182

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	90,314	114,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△660	△30
その他の包括利益合計	△660	△30
四半期包括利益	89,654	114,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,969	116,152
非支配株主に係る四半期包括利益	5,684	△1,842

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	メディア プラットフォーム 事業	販売代理事業	事業者向け ホームページ制作 ・メンテナンス事業	
売上高								
外部顧客への 売上高	485,563	266,680	50,493	119,970	4,075	114,648	69,836	1,111,268
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,336	—	—	3	—	272	520	2,132
計	486,899	266,680	50,493	119,973	4,075	114,921	70,356	1,113,400
セグメント利益 又は損失(△)	315,718	28,819	△34,433	10,211	△29,607	6,018	△185	296,540

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	296,540
全社費用(注1)	△172,353
その他の調整額(注2)	24,508
四半期連結損益計算書の営業利益	148,695

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外  
収益との消去によるものです。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	メディア プラットフォーム 事業	販売代理事業	事業者向け ホームページ制作 ・メンテナンス事業	
売上高								
外部顧客への 売上高	565,076	277,321	—	100,928	10,055	60,770	76,645	1,090,797
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,231	—	—	23	—	—	465	1,719
計	566,308	277,321	—	100,951	10,055	60,770	77,110	1,092,516
セグメント利益 又は損失(△)	363,120	21,934	—	△6,448	△25,648	△3,064	9,050	358,943

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	358,943
全社費用(注1)	△207,016
その他の調整額(注2)	18,461
四半期連結損益計算書の営業利益	170,388

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、前第4四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社ガイドデントの保有株式の90%を第三者に譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「保証事業」を廃止しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。